

74
会報

郷音

発行所 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル5F

TEL 03-6907-2537
FAX 03-6907-2915

発行人 山東 昭子 編集人 櫻井 博
(題字 山東昭子会長)

平成三十年度
理事会・評議員会報告

理事会 平成三十年六月四日開催
評議員会 平成三十年六月二十五日開催

- ① 平成二十九年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件
理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。
- ② 平成二十九年度収支決算に関する件
収支決算報告、監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。
- ③ 平成三十年度公益財団法人JKA補助事業の実施について承認決議された。
- ④ 評議員・理事候補者推薦(案)の承認
- ⑤ 平成三十年度事業計画、平成三十年度収支予算書が報告された。

平成三十年度 事業計画

- 【補助事業】公益財団法人JKA競輪収益助成事業
- ① FM補聴システム無償貸与事業
平成二十八年度、二十九年度に実施した利用者へのアンケート調査の結果により、システムの機種を変更し新しいタイプとした。

【一般事業】

- ① 事業案内
全国聾学校に事業案内送付、全国聾学校校長会総会

で事業説明

- ② 「第四十一回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」
平成三十年十二月三日(月)の予定でしたが、日程調整の結果、平成三十一年一月二十一日(月)に実施することになりました。
会場…衆議院憲政記念館(千代田区永田町)
後援…文部科学省、厚生労働省、東京都教育委員会、全国聾学校校長会、全国聾学校PTA連合会
- ③ 第二十三回全国聾学校絵画展
審査会…平成三十年八月四日
展覧会…平成三十年十月四日・五日
会場…北海道札幌市ACU
表彰式…最優秀賞・文部科学大臣賞受賞者在籍校に会長が赴いて実施予定
後援…文部科学省・全国聾学校校長会、全国聾学校PTA連合会
- ④ 第三十回全国聾学校合奏コンクール
課題曲…自由
審査会…平成三十年十一月五日(一次)、平成三十一年一月七日(二次)
表彰式…金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて実施予定
後援…文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校校長会、全国聾学校PTA連合会
- ⑤ 第十四回全国聾学校作文コンクール
テーマ…自由
審査会…第一次 平成三十年八月十八日
第二次 平成三十年九月十五日
調査研究委員会…応募作品の分析研究調査
表彰式…「第四十一回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で実施予定

共催…全国聾学校校長会

後援…文部科学省、東京都教育委員会、全国聾学校PTA連合会

- ⑥ 読字力検定試験 年間三回実施
- ⑦ 聴覚障害教育関係資料収集事業
- ⑧ 会報「響き」の発行 年二回
- ⑨ 募金活動(ハマナス募金) 目標額千五百万円
- ⑩ 法律相談(インターネット等)による法律相談
- ⑪ 専門図書、ビデオの紹介・頒布
- ⑫ 協会ホームページの公開・更新 等
- ⑬ 全日本聾教育研究大会への助成
- ⑭ 聴覚障害乳幼児教育相談研究委員会における調査研究活動

平成三十年度 役員名簿 (敬称略)

理事

- (会長) 山東昭子 (副会長) 森伸夫、浅井健二
(専務理事) 櫻井博
(常務理事) 木内弘司、宮野忠夫、小林明、仲田邦男
(理事) 秋谷義一、阿部きみよ、入澤肇、今井絵理子、桑山哲夫、田中助英、田中美郷、中村喜久子、平口洋藤本登、山田春雄
(監事) 関根正浩、本間通義

なお、平成十八年度以来長きに亘って当協会の評議員、理事をお勤め頂いた牧島ミリ氏は、この度健康上の理由により退任されました。当協会のためにいろいろとご尽力いただきまして誠に有難うございました。

評議員

荒崎勝美、石川庄六、石橋大吾、植草喜代治、大塚明敏、大沼直紀、大場利秋、小川昭子、小俣昌道、加藤聖治、金子昌夫、木村澄蔵、神津郁子、小島藤昭、齋藤佐和、鈴木茂樹、竹内美和子、武田智彦、田中真由美、鄭仁豪、戸田典尚、野崎正史、廣田栄子、松本弘、山勝彦、四日市章、若林友晴

事務局

(事務局長) 池上啓二
(事務主事) 小針文幸

なお、名簿の中で——の方は、今年度新たに就任された方です。

〈紹介〉(敬称略)

植草喜代治・全国聾学校PTA連合会会長

鄭仁豪・全日本聾教育研究会会長、筑波大学附属聴覚特別支援学校校長

松本弘・全国聾学校校長会会長、都立中央ろう学校校長

協会の事業

平成三十年度 第一回読字力検定試験

本年六月実施の読字力検定試験の結果は左記の通りでした。第二回(十月)、第三回(二月)でも、合格目指して頑張ってください。

・受験学校数 五九校

・受験者総数 一、二七六名

・合格者 五七四名

・合格証授与者数 二〇八名

九級：一二名 八級：八九名 七級：四九名

六級：一〇二名 五級：五九名 四級：九四名

三級：三三名 二級：四五名 一級：五九名

特一級：三三名

※今回の特一級の最年少合格証授与者 中二

第二十三回 全国聾学校絵画展

今年度の審査会は、平成三十年八月四日(土)に行われました。応募学校数三十一校、応募作品総数は四百九十九点でした。内訳は幼稚園十一校・七十一名、小学部二十七校・二百五十三名、中学部十五校・百三十五名、高等部・専攻科十一校・四十点でした。今年度の最優秀賞、優秀賞受賞者は次の十六名です。おめでとうございます。

最優秀賞・文部科学大臣賞

東京都立葛飾ろう学校

中学部三年 北澤 倭

最優秀賞

鹿児島県立鹿児島聾学校

小学部三年 富田 蒼月

優秀賞(幼稚園・小学部部門)

松浦 彩希(こぼと校) 寺澤 剛瑠(長野校)

村上 司(富山校) 林 蒼悟(附属校)

足立 彰平(生野校) 只石 瑛大(札幌校)

茶屋道 麻琳(鹿児島校)

優秀賞(中学部・高等部部門)

新倉 政亮(鹿児島校) 窪田 太陽(長野校)

佐藤 桃香(葛飾校) 徳田 輝(附属校)

グエンゴックニャン(立川校) 鶴崎 陽仁(松山校)

弘介(神戸校)

最優秀賞(二点)並びに優秀賞受賞作品(十四点)は、平成三十年度第五十二回全日本聾教育研究大会(北海道大会)会場において展示されます。

作品を応募した児童・生徒全員に、参加賞(クリアファイル)、優秀賞受賞者(十六点)には絵の具メーカー(株)クサカベ提供の「絵の具セット」を副賞として贈っています。



最優秀賞 [文科学大臣賞] (中・高部門)
「1920年代の時計」 北澤 倭
葛飾ろう学校

●絵画展審査員講評

審査員 矢澤健太郎(新制作協会会員)

今年も絵画展の審査に参加させていただきました。講評を、このことですが毎回審査させていただく私たちプロの画家も、出品者の皆さんから大きな刺激を受けていて、審査すると同時にいつも楽しませてもらっています。

そんな中で毎回感じるのですが、作品を描いてくださっている皆さん、一人ひとりの感受性は、個性にあふれています。同じものを描いても絶対に他の人と違うものができる、そこが美術・絵画の面白ところだと思います。そんな中で、みなさんが繊細に観察して何かを感じ取ったり、いろいろな絵具や道具の使い方を工夫して表現しようとしているうちに、先生やプロの画家でもはっとさせられるような素晴らしい表現が生み出される時があります。美術というのは、その瞬間を求めてあてもない、こうでもない、と散々考えを巡らせながら、もちろんたくさん失敗をして積み上げていくうちに出来るものだと思います。

審査員としてその中から何点かを選ぶというのは本当に大変なことです。優秀賞に選ばれた作品はもちろん素晴らしいのですが、それ以外にも本当に良い作品がいっぱいでした。

さて、その中で今年の最優秀賞(文部科学大臣賞)には葛飾校の中学三年北澤倭さんの「1920年代の時計」が選ばれました。赤系の茶色で塗った上に柔らかな白色系の絵具を載せ、乾かないうちに鋭いニードル状の道具(又は付けペン?)で一気に線を引いて描き上げた作品です。下地の茶色と上に塗った色が不規則に、微妙に溶け合って志野茶碗の肌のような色合いをだし、一気に引かれた線が描き出す色は鋭く、時にはにじみを伴って絶妙な形を描き出しました。偶然生まれた効果もありますが、絵画においてはこのような偶然的要素も大切です。感性を鋭く保ち、たまたまできた美しさや面白さを残しながら表現するやり方は非常に絵画的だと言えるでしょう。

もう一人最優秀賞に選ばれた富田蒼月さんは鹿児島の小学校三年生。作品の題名は「いろいろな世界の世界」です。落ち着いた柔らかな色彩で画面全体が非常に丁寧に描かれ、クマさんやイモムシさんなど楽しい仲間がいっぱいいます。蒼月さんは本が大好きなのでしょう。見ていて楽しくなる作品です。

優秀賞には、十四人の皆さんが選ばれています。松浦彩希さんの「私の白組がかったよ」は運動会の楽しい思い出が画面からあふれ出てきます。林蒼梧さんの「だいすきなぼくのいえ」は抽象絵画の様な大胆な形で、また実に見事な色彩感覚で描かれています。村上司さんの「やさしいができたよ」は印象派の画家モネのような素晴らしい色彩感覚と大胆なタッチで畑の様子が描かれています。足立彰平さんの「クワガタににる木」は独特な木の形のとりえ方が魅力的です。細部にまで表現が行き届いています。只石瑛大さんの「いちご、あまいよー」人物表現が生き活きしています。寺澤剛瑠さんの「どこ見てるの？」木版の表現が素晴らしい、豊かな表情になっています。茶屋道麻琳さんの「文化財 玉里邸庭園」。日本庭園は描くのが難しいのですが良く観察してとてもうまく表現しています。谷村弘介さんの「自画像」は独特の色彩で憂いに満ちた肖像作品です。鶴崎陽仁さんの「サッカード」は躍動感あふれる構図で画面全体がしっかり描かれていて迫力を感じます。新倉政亮さんの「大工」は写真的な描写ですが遠近法を使って良く対象を観察しながら描かれています。窪田太陽さんの「池に映る島」は水面の微妙な反射や映り込みを良く観察しその場所の空気も感じられるような作品です。佐藤桃香さんの「さつまいも」はなまの絵具のきれいな偶然性を活かした塗り方で抽象性を伴った素敵な作品になっています。徳田輝さんの「美しい虹」は色の重ね方を工夫したり、絵具の塗り方やカラージュ的な要素など複雑な表現を駆使した作品です。色彩も美しい。グエンゴックニャンさんの「美しい花」はプロ顔負けの繊細な描きこみで、モチーフの一つ一つを妥協せずに描き切った素晴らしい作品になっています。色も素直で美しいと思います。

以上、感じたことを述べさせていただきました。生徒の皆さんの制作への喜びを感じるとともに、指導に当たられた先生方の絵具や道具の使い方に、工夫や助言、制作への動機づけやアドバイスなど、色々と授業や制作を面白くするための工夫をされていることも併せて感じられ、興味深さと同時に熱い指導に感謝の気持ちでいっぱいです。また、来年も楽しみにしております。

審査委員 錦織重治、矢澤健太郎、木脇康一
竹内一、池上啓一

第十四回全国聾学校作文コンクール

全国聾学校作文コンクール第一次審査は八月十八日(土)に、第二次審査は九月十五日(土)に行われました。応募作品総数は昨年度とほぼ同じで百七十一点でした。内訳は小学部(絵日記・日記十一点を含めて)八十点、中学部四十四点、高等部四十七点でした。

今年度の入賞者は次の通りです。

- 金賞・文部科学大臣賞
愛知県立千種聾学校
小学部六年 鈴木 元太
- 金賞・全国聾学校長会会長賞
筑波大学附属聴覚特別支援学校
高等部三年 伊東 碧海
- 金賞・聴覚障害者教育福祉協会会長賞
茨城県立霞ヶ浦聾学校
中学部三年 渡辺 彩愛
- 銀賞
横川 丞(立川校) 中原 歩美(大塚校)
近藤 実優(名古屋校) 川上天馬(都・中央校)
松野 華奈(立川校) 廣瀬 紫優(川崎校)
- 銅賞
瀬角 羽菜(沼津校) 成田 興生(千種校)
石濱 日菜(筑波校) 油井 瞳珠(立川校)
吉岡 亮子(筑波校) 野口 愛莉(栃木校)

金賞入賞者三名の表彰は、平成三十年一月二十一日(月)の「第四十一回聴覚障害児を育てたお母さん」をたたえる会」において、実施いたします。

また、同日、文部科学大臣賞受賞者は自身の作文を壇上で口頭発表します。

第四十一回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会

今年度の「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は左記により開催いたします。日程調整の結果、当初協会が計画した日から八週間遅くなっています。どなたでもご参加できますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ち申し上げております。なお、ご参加(参加費無料)の場合は「参加者名簿」作成のため、事前予約が必要です。協会にご連絡いただければ出席申込書をお送りいたします。

日時 平成三十一年一月二十一日(月)
午後一時～三時二十分

会場 憲政記念館 東京都千代田区永田町
主催 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会
後援 文部科学省 厚生労働省 東京都教育委員会
全国聾学校長会 全国聾学校PTA連合会
株式会社日健総本社 他

協賛 第一部 式典

会長挨拶 来賓祝辞 お母さんの表彰
桜内義雄賞授与 第十四回全国聾学校
作文コンクール金賞受賞者表彰
第二部 発表会
聾学校児童生徒の舞台発表 体験発表
桜内義雄賞受賞者の体験発表 作文コン
クール審査委員長講評 第十四回作文コ
ンクール文部科学大臣賞受賞作品
発表 第二十三回絵画展等ビデオ放映

●桜内義雄賞

平成三十年度受賞者*

今年度の桜内義雄賞には、八木道夫さんが選ば

れました。1947年焼津市生まれ。七十歳。小・中・高と静岡県立静岡聾学校で学んだ。幼い頃より画家になるという夢を持ち続け、描き続けて夢を実現し、現在プロの画家として幅広く国際的にも活躍している。



ピエロを約三十年前からモチーフとして描き続けている。一年前には聴覚障害者の発表の場をつくるためNPO法人「日本聴覚障害者芸術協会」を発足し自ら会長を務めている。

ハマナス募金

当協会の事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝いたしております。

今年度も計画事業の適正な実施に努めているところでございますが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。

郵便振替口座 00110・9・134877

名義 聴覚障害者教育福祉協会

銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店

普通口座 1615748

名義 公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会

会長 山東昭子

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

平成三十年四月一日から九月末までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

（敬称略）

株式会社日健総本社（森伸夫）、伏見殿下杯チャリティゴルフ実行委員会事務局、宮野忠夫、日焼順子、全国難聴児を持つ親の会（神津郁子、田中真由美）、新潟県難聴児を持つ親の会（渡辺国正）、金子昌夫、入澤肇、神邊洋吾、大前久夫、中西千鶴子、春名英徳、小川勝江、若宮幾馬、堀信子、浦川絢子、川村美津子、鈴木厚、関東地区聴覚障害者親の会連合会（鈴木厚）、古橋靖夫、木内弘司、田中美郷、（株）ATOMICS（山勝彦）、北海道高等聾学校、折山精、佐々木節子、阿部きみよ、株式会社宝古堂美術（山田春雄）、斎藤捷彦、（株）大場組（大場利秋）、弘田文範、川尻正子、兵藤紀之、荒崎勝美、長野ろう学校PTA、関根正浩、武田ビル（武田智彦）、大塚明敏、西本徹、石川庄六、坂井美恵子、池上啓二、木村澄蔵、群馬県立聾学校親の会、本間合同法律事務所（本間通義）、青野雅子、青森県ことばと心を育む会、筑波技術大学長（大越教夫）、佐藤和子、リオン株式会社、全国聾学校長会、リオン株式会社、ライシャワークレーマー学園

平成三十年度

公益財団法人JKA競輪公益資金

による補助事業実施報告

一 事業名

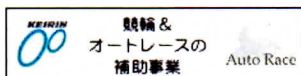
平成三十年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

二 事業実施内容

（一）FM補聴システムの購入・無償貸与

送信機・受信機二十四セット

全国聾学校・聴覚特別支援学校、小学校、中学校、難聴幼児通園施設に在籍、在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与



※ 読字力検定試験について

読字力検定試験においては二回合格すると合格証を授与しています。児童・生徒たちの励みも考慮して、今年度より合格者には、クリアファイルを協会からプレゼントすることになりました。合格証授与者には二枚、合格者には一枚です。また、作問では当協会から出版しました「漢字練習のステップ」を参考にしています。特一級の作問では、新聞記事よりその時々々の社会情勢の言葉から出題しています。難しい漢字の読みより、社会で起きている様々な記事が読めることを念頭に置いて出題しています。

● お悔み

理事 田中助英氏 平成三十年四月三日 ご逝去享年八十五歳

理事 入澤 肇氏 平成三十年九月十八日 ご逝去享年七十八歳長年当協会理事として多大なご貢献をいただきました。ご冥福をお祈りするとともに、ここに謹んでご報告申し上げます。

編集後記

西日本豪雨のあとも台風と猛暑が繰り返し来襲し、そして震度七の地震が北海道を襲い、さらに台風二十四号が追い打ちをかけるなど、今年はいつもどこかで自然災害が起きている状況です。それぞれの被災地にある学校の状況が大変気になります。無事をお祈りしています。

今号では読字力検定、絵画展、作文コンクールを中心として、結果・成績をご紹介します。